



2019年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年3月11日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2019年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年4月期第3四半期の連結業績(2018年5月1日～2019年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年4月期第3四半期	33,669	5.3	1,568	38.1	1,709	42.2	1,160	34.8
2018年4月期第3四半期	31,966	5.2	1,135	△22.4	1,201	△22.1	860	△16.7

(注)包括利益 2019年4月期第3四半期 986百万円 (8.8%) 2018年4月期第3四半期 906百万円 (△21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年4月期第3四半期	230.04	—
2018年4月期第3四半期	170.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年4月期第3四半期	35,407	12,992	36.7
2018年4月期	29,508	12,106	41.0

(参考)自己資本 2019年4月期第3四半期 12,992百万円 2018年4月期 12,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2019年4月期	—	0.00	—	—	—
2019年4月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年4月期の連結業績予想(2018年5月1日～2019年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,100	3.7	1,050	23.7	1,150	19.2	740	13.8	146.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年4月期3Q	5,075,500 株	2018年4月期	5,075,500 株
② 期末自己株式数	2019年4月期3Q	31,278 株	2018年4月期	31,268 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年4月期3Q	5,044,228 株	2018年4月期3Q	5,044,366 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年5月1日から2019年1月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や所得環境に一定の改善がみられるなど、緩やかな回復基調を継続しておりますが、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、安全・安心かつおいしさの追求に重点をおいた包装餅び包装米飯の適正価格での安定供給に努めることを基本に、お客様の消費動向を捉えながら多様化するニーズに対応した販売活動を行ってまいりました。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

包装餅製品では、当社グループ独自の「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)をよりいっそうお客様に認知して頂けるよう、新しいCMキャラクターに「りんか&あんな」(SNSで50万人を超えるフォロワーを誇る双子の小学校1年生)を起用した新CM「おいしさのしるし篇」を全国放映するなど、販売活動に取り組みました。また、新商品として、最高級まる餅の提案として「サトウのまる餅 至高の餅 新潟県魚沼産こがねもち300g」、「サトウのまる餅 至高の餅 滋賀県産羽二重糯300g」、鍋料理に最適な商品として「サトウの切り餅 鍋もち」を発売して、さらなる需要拡大に向けた取り組みを実施いたしました。

「サトウの鏡餅」では、外装パッケージを従来の赤色を基調としたものから一新して、華やかなゴールド色やブラチナ色を採用し、より豪華さを演出するとともに、店頭売り場でも存在感を示す大幅なりニューアルを実施しました。また、当社グループのうさぎもちでも昨年発売し好評を頂いた「あんこ餅」入り鏡餅の商品拡充を行うなど、年末の最需要期に向けた取り組みを行いました。その結果、包装餅市場が縮小傾向にあるなか当社グループは「ながモチフィルム」が認知されてきた効果もあり販売が堅調に推移し包装餅製品の売上高は179億88百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

包装米飯製品では、本年度につきましても労働人口の減少等により原料米以外の人件費、物流費等の大幅な上昇が続き、自社の努力のみではコストを吸収することが困難となったことから、昨年価格を据え置いた主力の新潟県産コシヒカリ等の新潟県産米商品につきましても、11月21日出荷分より販売価格の値上げを実施いたしました。しかし、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できる利便性に加え、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の安全・安心意識にマッチし、販売は引き続き堅調に推移いたしました。その結果、包装米飯製品の売上高は156億54百万円(同7.8%増)となりました。なお、発売から昨年30周年を迎えた「サトウのごはん新潟県産コシヒカリ」が長年に渡りお客様からご愛顧を頂いてきた結果、「パックごはん」というカテゴリーを創出した商品として評価を頂き「2018年グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高はその他26百万円(同13.9%減)を加えた336億69百万円(同5.3%増)となりました。

利益面につきましては、物流費の増加および販売量増加にともなう販売促進にかかる費用等が増加しましたが、売上高の増加にともない売上総利益が増加した結果、営業利益は15億68百万円(前年同四半期営業利益11億35百万円)、経常利益は17億9百万円(同経常利益12億1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益については11億60百万円(同親会社株主に帰属する四半期純利益8億60百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は354億7百万円となり、前連結会計年度末に比較し58億99百万円増加いたしました。これは、現金及び預金(前連結会計年度末比20億18百万円減)、仕掛品(同7億47百万円減)並びに原材料及び貯蔵品(同7億70百万円減)が減少したものの、受取手形及び売掛金(同78億36百万円増)、有形固定資産のその他(同24億47百万円増)の増加が主な要因となっております。なお、有形固定資産のその他の増加は、東港5丁目工場(仮称)の建設にともなう支払であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は224億15百万円となり、前連結会計年度末に比較し50億13百万円増加いたしました。これは、長期借入金(前連結会計年度末比7億52百万円減)が減少したものの、運転資金としての短期借入金(同43億円増)および未払金(同21億31百万円増)の増加が主な要因となっております。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比較し、親会社株主に帰属する四半期純利益等により、8億85百万円増加し、129億92百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年4月期決算短信(2018年6月11日公表)において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,269,742	251,677
受取手形及び売掛金	5,641,646	13,478,447
商品及び製品	1,786,374	1,538,604
仕掛品	916,632	168,786
原材料及び貯蔵品	3,352,241	2,581,929
その他	75,752	82,993
貸倒引当金	△4,520	△10,400
流動資産合計	14,037,870	18,092,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,407,601	3,389,274
機械装置及び運搬具（純額）	4,912,394	4,734,521
土地	2,347,426	2,347,426
その他（純額）	426,189	2,873,508
有形固定資産合計	11,093,610	13,344,730
無形固定資産	115,225	97,147
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	2,488,949	2,467,190
その他	1,793,308	1,428,966
貸倒引当金	△25,050	△25,050
投資その他の資産合計	4,257,207	3,871,107
固定資産合計	15,466,043	17,312,985
繰延資産	4,478	2,646
資産合計	29,508,393	35,407,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,515,522	1,031,327
短期借入金	2,600,000	6,900,000
未払金	2,167,919	4,299,037
引当金	355,064	165,427
その他	3,263,454	3,566,667
流動負債合計	9,901,961	15,962,460
固定負債		
社債	564,000	547,000
長期借入金	5,280,050	4,527,069
引当金	252,224	57,137
退職給付に係る負債	1,046,560	1,002,174
その他	356,773	319,497
固定負債合計	7,499,608	6,452,879
負債合計	17,401,569	22,415,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	10,639,263	11,698,734
自己株式	△35,901	△35,935
株主資本合計	11,653,136	12,712,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724,536	522,952
退職給付に係る調整累計額	△270,850	△243,195
その他の包括利益累計額合計	453,686	279,756
純資産合計	12,106,823	12,992,330
負債純資産合計	29,508,393	35,407,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2018年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)
売上高	31,966,562	33,669,712
売上原価	19,292,442	20,003,287
売上総利益	12,674,119	13,666,424
販売費及び一般管理費	11,538,477	12,098,028
営業利益	1,135,642	1,568,396
営業外収益		
受取利息	158	53
受取配当金	12,229	13,100
受取賃貸料	142,068	143,022
その他	126,657	157,728
営業外収益合計	281,113	313,905
営業外費用		
支払利息	80,575	49,669
賃貸費用	75,902	64,851
その他	58,486	58,362
営業外費用合計	214,963	172,883
経常利益	1,201,791	1,709,418
特別利益		
固定資産売却益	298	5,670
投資有価証券売却益	-	6,025
補助金収入	51,400	-
特別利益合計	51,698	11,695
特別損失		
固定資産売却損	-	1,334
固定資産除却損	23,309	-
特別損失合計	23,309	1,334
税金等調整前四半期純利益	1,230,180	1,719,780
法人税、住民税及び事業税	283,387	409,040
法人税等調整額	86,010	150,385
法人税等合計	369,397	559,425
四半期純利益	860,782	1,160,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	860,782	1,160,355

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年5月1日 至 2018年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)
四半期純利益	860,782	1,160,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,068	△201,584
退職給付に係る調整額	27,902	27,654
その他の包括利益合計	45,970	△173,929
四半期包括利益	906,753	986,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906,753	986,425
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。